
QA40 政府発表で健康上「直ちに」影響がでないとの表現がされていましたが、どう理解したらよいのですか、将来に対する影響はどのようなのでしょうか

被ばくした放射線量が高いほど数年後から数十年後にがんになるリスクが高まると考えられますが、そのリスクは、例えば 100 ミリシーベルトで 0.5%程度と予想されています。

また、食品や飲料水等の摂取に関する暫定基準値とは、そのレベルの放射線量の食品（または水）を一定量 1 年間摂取し続けたら影響が出る可能性があるので、摂取しないほうがよいでしょう、という目安です。したがって、この場合の「直ちに影響がでない」は、数回または一週間などの短期間、暫定基準値を多少超えた食品を食べたとしても影響はありません、ということを意味しています。

出典：福島県「放射線と健康に関する Q&A」より作成

公表日：2011 年 6 月 30 日

更新日：2012 年 12 月 25 日